麦

埼玉親の会「麦」発行
2023年10月26日 158号
E-mail: mugi.saitama89@gmail.com
ホームページ:http://ld-mugi.sakura.ne.jp/

全体活動

進路例会　発達障害のある子の進路と不登校ひきこもり

～保護者による体験談と親の会アンケート調査結果報告～

9/22（金）10：30～12：00　浦和コミュニティセンター IT 研修室

出席　教育 G4 名、就労 G4 名（内経験談者２名）　計８名　プラス書面による経験談協力２名

毎年この時期は進路例会が恒例になっています。進路例会は会員限定なので、そのために入会してくださった方もおり、役員としては入会に見合う内容にしなければと気が引き締まりました。

最初に、会員にとった進路や不登校等についてのアンケートを集計した資料をＹ代表が説明しました。具体的な内容でとてもよい資料だと思います。会員の皆様にも郵送されるので、ぜひ参考にしてください。

次に、子どもの発達障害が分かった時期や、小、中学校での様子、進路を決めた経緯などについて私とＫさんが司会からの質問に答えるという形で話しました。都合により当日欠席で書面提出した会員２名の経験談も、質問にそって司会が代読して参加者へ伝え、進路以外に不登校やひきこもりについても助言いただきました。

その後二つのグループにわかれて、おしゃべり会です。高校の話やグループホームの話で盛り上がりました。

どの進路先がその子にとって一番いいのか、子どもの進路先については誰もが悩みます。最終的に決めるのは本人ですが、情報に振り回されることなく、正しい情報、経験者の情報を集めるのが大切かなと私は思います。（C・N）

全体活動

６月全体おしゃべり会

6/25（日）10：30～12：00　浦和コミュニティセンターIT 研修室

出席　教育Ｇ3名、就労Ｇ3名、見学２名　　合計８名

浦和コミュニティセンターでのおしゃべり会に参加いたしました。

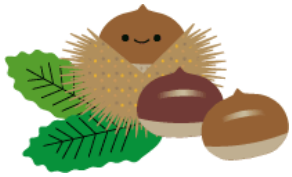
なかなか参加できずにいたところにコロナ禍が重なり、数年振りの参加でした。

我が家には高校生と中学生がおり、おしゃべり会では同じように中学生、小学生のお子さんのいらっしゃる方とお話しすることができました。

家庭、学校での出来事や進路の悩みなど、さまざまお話しを聞くなかで、私もそうだった、自分だけじゃないんだと心から共感したり、そういう対応方法があったのか、という発見や新しい気づきを久々に得ることが出来ました。そして自分を労り、前向きな気持ちを持つことが出来ました。

一時はコロナ禍でめっきり人と集まる機会が減り、おしゃべり会も縮小された時は私達のような親の気持ちを共有する場がなくなってしまうのではないかと思いましたが、またこのように参加することができ本当に良かったと感じています。今回のおしゃべり会に参加して、人と対面で話を聞き、聞いてもらえる事ができる場があることの心強さを改めて実感しました。　（M・M）

全体活動



川越地区おしゃべり会

7/22（土）10：00～12：00　川越駅スターバックス
出席　教育Ｇ1名、就労Ｇ3名、見学１名　　合計５名

川越駅のスターバックスでのおしゃべり会に参加しました。コロナが始まってから、地域でのおしゃべり会が出来ずにいましたが、再開できて良かったです。療育機関などでお子さんについて同じ悩みを持つ親同士との関わりが少ないのは昔も今も変わらないようで、親同士のつながりは大事だと感じました。さらに子どもが就労するとさらに親同士のつながりがなくなり、もっと交流の場が大切だなと実感しました。またこのような地域おしゃべり会を開催していきたいなと思いました。（Ａ・Ｙ）

大宮地区おしゃべり会

8/19（土）13：30～15：00　さいたま市生涯学習総合センター
出席　就労Ｇ3 名、見学５名　　合計８名

久しぶりのおしゃべり会

８月 19 日（土）大宮で実施された、おしゃべり会に約６年ぶりで参加しました。その日は相も変わらず暑い日で、どのくらいの人が集まるかと思っていました。

参加者は８名、子どもの年令によって２グループに分かれ、まず１分くらいずつ自己紹介を、その後現在困っている事を順番に話し、そしてフリートークに移る感じです。

今回久しぶりに参加した私の目的は、就活中の息子の就職に参考になるお話を求めて参りました。そこで先輩会員の皆さんからお聞きした子供さんの体験談により、色々な就職の方向性や子どもの特性に応じた就職先があると聞かされました。実際に、息子の就職先候補として申込をしたところもありました。

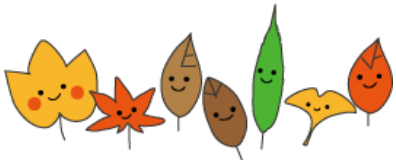
おしゃべり会では、自分が話したいことを一方的にするのではなく、会員の皆さんの話を聞くことにより、共感を持ち、体験を共有することが大事だと改めて感じさせられました。やはり、どんなテキストやセミナーより先輩方の体験、口コミが一番だと思います。

皆さんも自分の体験を他の方へ、他の方々の体験を自分に活かせるおしゃべり会へ足を運んではみませんか？
（Ｔ・Ｕ）

発送活動

６月発送　6/25（日） 浦和コミュニティセンターIT 研修室　13:00～印刷製本封入

全体交流会（おしゃべり会）終了後、機関紙６月号の発送作業を行いました。４月と２月の発送は、会員宛の印刷郵送があるのでお手伝いが必要ですが、６月発送は印刷郵送物が少なかった為、役員２名で作業いたしました。作業が多い時は、会員皆様にお手伝いをお願いすると思います。ご都合のつく会員は、できる範囲で構いませんので、ご協力よろしくお願いいたします。（Ｈ・Ｙ）



要望書に関する活動

令和 ６年度発達障害関係予算要望事項の作成

おしゃべり会で話される発達障害の困りごとや、会員連絡網で募集した要望へのご意見を参考に、要望書検討会（5/24、6/7、6/15、6/22）を Zoom で行いました。今までは、埼玉県とさいたま市で役員が２グループに分かれて、各々要望書を検討しておりましたが、どちらも共通する事項が多いことから、今年度は役員全員で埼玉県とさいたま市の共通要望項目を洗い出しました。その後で、埼玉県独自の要望内容、さいたま市独自の要望内容を補足するやり方に変更しました。更に、例年の要望書は簡潔に箇条書きしていましたが、担当課と「麦」の間で解釈の相違が生じることも多かったので、今年度は要望文の後ろに、補足説明文も追記してみました。原案ができたら、役員達がメールで文章チェック等を行い、７月下旬に埼玉県とさいたま市の要望書が完成いたしました。なお「麦」の要望書は、翌年の行政予算に発達障害施策を組み入れるために作成するので、令和５年に提出であっても、タイトルは令和６年度発達障害関係予算要望となります。予算に対する要望に個別ケースの要望掲載は難しいですが、要望書を担当課と話し合う際に、個別ケースを伝えることはできます。発達障害への支援に不満がある会員は、遠慮せずに役員までご連絡ください。今後も会員皆様にはご協力よろしくお願いいたします。（H・Y）

埼玉県 令和 ６年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

今年度の初めに、埼玉県福祉部障害者福祉推進課長から９/5（火）に「県との話し合い」の通知をいただきました。話し合いには要望書が必要ですが、時間内に話し合いができるように、最小限にまとめて、簡潔で明確な文章で伝えなければなりません。「麦」要望書は多岐にわたり、全ての項目を話し合いの時間内で済ますことは不可能です。そこで、例年埼玉県の要望書は、話し合いの場で直接口頭説明いただく項目と、文書回答いただく項目に分けることにしています。予算要望書は、7/ 24（月） に埼玉県知事宛へ提出いたしました。

9/5（火）の県との話し合い（口頭回答）には、代表と事務局２名の計３名が出席いたしました。担当部署との話し合いでは、事例を挙げ具体的に説明することができましたし、日頃の発達障害支援施策に対して感謝も伝えられました。当日話し合いの場にご出席いただいた担当部署の皆様、文書回答いただいた担当部署の皆様、担当部署に回答を手配いただいた障害者福祉推進課総務・企画・団体担当の皆様、全ての関係者皆様に感謝申し上げます。今後も発達障害のある人に、お力添えの程お願いいたします。（H・Y）

さいたま市 令和 ６年度発達障害関係予算要望事項提出及び回答

7/24（月）、代表と事務局の２名が教育委員会特別支援教育室と障害政策課ノーマライゼーション推進係を訪問し、さいたま市長あて令和 ６年度発達障害関係予算要望事項を持参提出いたしました。例年、要望文章だけでは意図が伝わらないこともあり、内容説明には苦労していましたが、今年度は補足説明を追記した要望書なので、スムーズに話を進めるができました。昨年のように、重点項目に時間を割いて補足説明するのではなく、全ての項目を満遍なく伝えることができたように感じます。ただ、「相談窓口の一元化」の意図が分かりにくかったようで、具体例を挙げて説明いたしました。誰にでも伝わる明確な文章作成は、本当に難しいです。

特別支援教育室と障害政策課ノーマライゼーション推進係の皆様、当日はお忙しいところお時間を頂きありがとうございました。日頃の発達障害支援にも、感謝しております。引き続きお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。（H・Y）

★埼玉県とさいたま市の要望事項と回答は「麦」ホームページに掲載しています。

埼玉県　http://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2023pref.saitama.pdf

さいたま市　http://ld-mugi.sakura.ne.jp/youbousyo.kaitou2023city.saitama.pdf

役員活動報告（埼玉県）

第７期 埼玉県障害者支援計画策定に係る障害者団体ヒアリング

7/27（木）埼玉県本庁舎１階 福祉部会議室

埼玉県では、障害者に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「埼玉県障害者支援計画」を策定しています。計画は３年ごとに見直され、現在は令和３年度から令和５年度までを期間とする「第６期埼玉県障害者支援計画」が実施されています。この度、来年度からの「第 7 期埼玉県障害者支援計画」を策定するために、障害者団体からヒアリングが行われることになり、「麦」からは代表と事務局の２名が参加しました。本ヒアリングは、麦を含めて 20 団体（1 団体は書面参加）が参加し、団体別にヒアリング時間を設けていただきました。まず、埼玉県の障害者施策を、①「理解を深め、権利を護る」②「地域生活を充実し、社会参加を支援する」「就労を進める」③「共に育ち、共に学ぶ教育を推進する」「安心・安全な環境をつくる」という 3 つの柱に分けた後、分野ごとの意見を事前に書面提出するよう求められました。そこで、現在行われている第６期埼玉県障害者支援計画にある 317 の施策の中で、発達障害への体制改善が望まれる 14 の施策に対して意見を提出いたしました。ヒアリング当日は、障害者福祉推進課総務・計画・団体担当の方々に、事前提出した資料に加えて、国の施策等も参考資料に用いながら、現状の問題と課題などをご説明いたしました。50 分という限られた時間の中で、多岐にわたる問題を簡潔に伝えるため、私の手元資料はポストイットだらけでした。私どもの意見が、障害者施策に少しでも取り入れていただけたら幸いです。このような機会を頂けたことに深く感謝すると共に、埼玉県の障害施策がいっそう推進されることを心から望みます。（H・Y）

役員活動報告（埼玉県）

埼玉県議会公明党議員団との意見交換会

9/19（火）埼玉県議会議事堂 4F 会議室

「麦」は、会則で定めている通り、政治や宗教活動に関わりませんが、発達障害の支援を求めて、議会に対して要請活動を行うことがございます。埼玉県公明党議員団は、毎年様々な障害団体を招き、県政への要望などを個別に意見交換する場を設けており、「麦」は県内で活動する障害団体として意見交換会に招かれています。今年度の意見交換会は、「麦」から役員が３名、公明党議員団からは５名の参加でした。私達の説明に、議員団の皆さんは熱心に耳を傾けて下さいました。公明党に限らず、発達障害の支援の輪が広がるのであれば、「麦」役員が足を運び、理解啓発を推進していきたいと思っています。埼玉県議会公明党議員団の皆様、意見交換会の場を設けていただき、本当にありがとうございました。（H・Y）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度 さいたま市第１回誰もが共に暮らすための市民会議

さいたま市では、市民の声を障害政策に活かすために、市民会議を年３回開催しており、小グループで話し合いを行っています。6/23（金）浦和コミュニティセンター多目的ホールで標記会議が開催され、私は親の会の立場で参加してまいりました。議題は、①令和４年度障害者支援計画の達成状況について　②次期障害者支援計画について…でした。私のグループには、障害者ご本人、障害者のご家族、支援機関の職員達が参加していました。私は、①については「ひきこもり当事者へのアンケート満足度」「発達障害者社会参加事業」「発達障害者の家族支援」「障害者相談員」の評価が利用者側の感想と乖離している事を伝えました。②については、「発達障害の医療研修」「通級指導教室の増設」「自立に向けた支援」の強化を求めました。市民会議は、さいたま市在住・在勤・在学なら誰でも参加できます。立場の異なる方から様々なお話を伺うことができるので、関心のある方は参加してみたら如何でしょうか？（H・Y）

★市民会議の詳細は、下記サイトでご確認ください。

https://www.city.saitama.jp/002/003/004/002/004/index.html

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

全国 LD 親の会 第 15 回総会

6/17（土）12：30～

富山県総合福祉会館サンシップとやま　研修室 701、オンライン（Zoom）

「麦」が所属する全国 LD 親の会の総会が、東海北陸ブロックの協力のもと、富山県で開催されました。

今年度も昨年同様ハイブリッドで行われましたが、今回から会員各会の議決権行使がオンラインでも可能になったことにより、開催地会場での出席と、オンラインでの出席が可能になりました。「麦」はオンラインで、理事としてＹが、麦の議決権行使者としてＫが出席しました。

本総会において、全国 LD 親の会理事で「麦」代表Ｙは、理事の任期が終了し、理事から監事に就任しました。

総会の概要
出欠状況 加盟団体 36 団体中 会場出席 8 団体、オンライン出席 20 団体、議決権行使書 5 団体、委任状 2 団体 欠席 1 団体
議案 3 件 「2022 年度事業報告」「2022 年度決算報告及び監査報告」「2023 年度役員選任」
全てが満場一致で可決承認。
計画・予算　2023 年度事業計画と予算の説明
新旧役員挨拶

（M・K）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

全国 LD 親の会　研修会「発達障害のある人の就労の現状と課題について」

6/17（土）14:45～16:30　富山県総合福祉会館サンシップとやま会場＋オンライン開催

会場参加 22 名・オンライン参加 31 名

総会終了後の研修会で、全国 LD 親の会の粟野副理事長から、昨年度の会員調査「発達障害のある人への就労移行支援における新型コロナの影響」の報告がありました。昨年度の 11 月公開フォーラムでは速報版の報告でしたが、今回の報告書は 50 ページにおよぶ内容でした。30 分ほど報告書の解説を伺った後、標題の課題について、５人程度の小グループに分かれて意見交換することになりました。グループで検討する課題は『コロナ禍と高学歴化のどちらが重要か』『義務教育時代からの障害開示が将来どのように影響するか（開示しない場合はどうなるか）』の２点でした。どちらも非常に難しく、参加者の中には意図が理解できず、戸惑う方も多く見受けられました。私のグループでは、論点がずれそうになりながらも、活発な意見交換が行われました。多角的な視点から、物事を深く考えさせられる研修会でした。（H・Y）

★「発達障害のある人への就労移行支援における新型コロナの影響」調査報告書　下記サイトに掲載
https://www.jpald.net/book/pdf/covid19_houkoku.pdf

ＮＰＯ法人全国ＬＤ親の会第 22 回公開フォーラム

「発達障害のある人の自立と社会参加のために今できること～ 親なき後を見据えて～」

6/18（日）10:20～16:00　富山県総合福祉会館サンシップとやま会場＋オンライン開催
ハイブリッド開催、基調講演と話題提供は事前録画分を後日アーカイブ配信

基調講演「生涯発達の視点から見た、発達障害児・者とその家族の自己実現のために」
島根県立大学人間文化学部（元富山大学人間発達科学部）　水内　豊和氏

教鞭をとられていた時の研究を進めてきた立場からの視点で、どのように指導してきたのかなどのお話をされていました。

発達障害児・者とその家族の自己実現のためには
・UD（ユニバーサルデザイン）、基礎的環境整備、合理的配慮、個に応じた配慮・支援理解
・「障害」は「社会の中」にあるという視点
・大事なことは「内容」を落とすのではなく「方法」で支えること！　である

話題提供①「就労自立にむけて」
社会福祉法人アルペン会　大島　明子氏

就労にあたって必要なことは、体力、身だしなみ、自分の取扱説明書、相談相手（二ヶ所以上）、趣味（音楽、演劇、絵画、ゲーム、アニメ、アイドル、俳優、鉄道、料理、雑貨集め、などなど）である。
就労につながるために、小さいころからできることは、客観的な評価（WISC、KABC、STRAW など）ライフスキルを身につける（あいさつ、自分の身の回りのことは自分でする、家のお手伝いをするなど）、適切な環境設定（無理をしなくてはいられない場所、自分の良いところを認めてくれない場所に長くいない）が必要である。と話されていました。

話題提供②「地域の中でくらしていくために必要な支援とは」
富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」　相談員　北川　忠氏

地域の中で暮らしていくために必要な支援は発達障害の人たちが住みやすい地域づくりが大切。地域の中でたくましく生活していくためには「盾と矛（鎧）」が必要。乳幼児期/学童期からの支援を通して「自己理解」と「自己肯定感」を育むこと。それと併せて、医療機関の受診（診断名の有無は問わず）や手帳の取得、さらには年金の申請等も社会を生き抜くための大きな力として必要である。

話題提供③「保護者が今・将来に対して考えること」
学齢期　保護者　筧田　裕美氏

子どもが社会参加していくために、将来に対して親として考えることは
～「将来」どのように生きる～自分を表現すること、自分の意思を示すこと
～異なる『自立』の形～障害者としての自立、社会の中での自立
～「自分らしく」豊かな人生～親としてできることが何か？と考えるそうです。
私も同感だなと思いました。

話題提供④「今とこれからを考えた親のかかわり」
富山県 LD 等発達障害及び周辺児者親の会　ゆうの会　橋本　真由美氏

親の立場からのお話で、お子様が診断を受けたときの状況やどのような進路を選択してきたかの体験談を話されていました。何度も失敗を繰り返しているそうですが、「失敗しても大丈夫。信頼できる人をたくさん持つことを目標にどうして失敗したかを考える心の余裕を持っていられるように支えていきたい。」という言葉が印象に残りました。私も「失敗しても大丈夫」と心の余裕を持って子どもを支えていきたいと思います。

パネルディスカッション「発達障害のある人の自立と社会参加を支えるために」
話題提供者４名、コーディネーター：水内 豊和氏

私は Zoom でのオンライン配信で参加しました。音割れがあり話を聞きとることが出来ず残念でした。会場ではいろいろな質疑が出てパネラーの方が答えていました。　（Ａ・Ｙ）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

全国 LD 親の会 関東・東北ブロック会議

7/8（土）世田谷区立男女共同参画センターらぷらす会場と Zoom 併用で標題会議が行われました。会場には関東・東北ブロック新旧役員５名が集まり、全国 LD 親の会理事長、副理事長と 11 会は Zoom を利用して参加しました。初めに全国 LD 親の会から 6/17（土）に行われた第 16 回総会、研修会、公開フォーラム（P5，６参照）等の各種事業報告と今年度の予定の説明がありました。その他に、10 月に開催される日本 LD 学会の会場で掲示する各会のポスター展示の方法や、来年度実施が検討されている会員へのアンケート調査についての方法などが話し合われました。

その後、各会から２月以降の活動報告がありました。コロナ禍による行動制限の緩和により、各会とも以前のような活動を再開させるとともに、オンラインの活用を進めているようで、当会の活動の参考にしたいと思いました。

今回の会議には、当会から前理事として Y が会場で、K が Zoom で参加しました。また、当番の会として書記を務め、議事録を作成しました。（M・K）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

全国 LD 親の会　2023 年度第１回行政勉強会「障害者総合支援法概論」

7/9（日）10：00～12：00　Zoom 利用

講師：日詰　正文氏（元厚生労働省、JDDnet 事務局長、言語聴覚士）

「障害者支援法」の成り立ちから、現在どんなサービスがあるか（種類）、利用できる対象者、最近の話題などをお話しいただいた後、たくさんの質問にお答えいただきました。65 歳以上になった時、障害者福祉サービスから介護保険でのサービスへ変わる問題や、相談支援事業所で相談支援を利用した好事例など興味のあるお話をたくさん伺うことができました。相談支援は障害者手帳が無くても医師の診断書などでも利用できるとのことです。困ったときは悩んでいるよりまず相談支援を利用することを覚えておきたいと思いました。次回（11 月予定）には、同法のさらに詳しいお話を伺えるとのことで楽しみです。企画してくださった全国 LD 親の会役員の皆様、ありがとうございました。（M・K）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

全国 LD 親の会　第２回行政勉強会

「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告から」

9/8（金）10：00～12：00　Zoom 利用　　講師：笹森　洋樹氏（常葉大学教授）

特別な教育的支援を受けるといっても、その種類や方法は多様になりました。今回は笹森氏が参画された標題の検討会のお話を伺いました。校内委員会の機能を強化すること、個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・活用、専門家等との連携などをより充実させることが望まれています。利用者が増え続けている通級について、本人が活用して良かったという成果を出せる内容へ、高等学校における通級も含めて体制の整備が検討されているようです。また、以前は問題行動をする子どもを指導するといった学校の「生徒指導」の考え方が改定を重ねられ、発達障害も含めた様々な背景を持つ全ての児童生徒の発達を支える・支援する生徒指導へと変化し、特別支援教育と生徒指導が近づいてきている、というお話が印象に残りました。（M・K）

ＮＰＯ法人全国 LD 親の会

日本 LD 学会　第 32 回大会（広島）

多様性に寄り添う個別最適な支援　―異領域でつなぐ、専門性でつなぐ―

10/8（日）～10/9（月祝）広島国際会議場/広島市文化交流会館

日本 LD 学会は発達障害の学術研究団体で、「麦」は日本 LD 学会の機関会員です。「麦」が所属する全国 LD 親の会では、日本 LD 学会の大会で毎年親の会シンポジウムに参加し、会場においてポスターを展示しています。今年の親の会企画シンポジウムのテーマは「GIGA スクール構想における個別最適な学びについて」。全国 LD 親の会のポスターは、加盟団体 36 団体中 13 団体が展示いたしました。「麦」は、毎年ポスター展示に協力しています。9/22（金）進路例会終了後、大型プリンターでポスターを印刷して、広島発達障害親の会「明日葉」にポスターを郵送、ポスターの展示と撤去をお願いしました。「明日葉」をはじめ広島大会のスタッフの皆様、いろいろとお世話になりありがとうございました。　（H・Y）

親の会関連書籍のご紹介

新刊「発達障害・グレーゾーンの子どもが見ている世界」
監修：田中康雄氏（北海道大学名誉教授）
発行：永岡書店　2023/10 月　1,320 円

子どもが見ている世界をマンガで解説、接し方のヒント等掲載。
保護者向けサポートのページに「全国 LD 親の会」が紹介されています。
https://www.nagaokashoten.co.jp/book/9784522440919/

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度第１回さいたま市発達障害者支援地域協議会

7/13（木）標題会議が Zoom を利用して行われました。議題（１）発達障害に関する周知・啓発活動の報告について。さいたま市は埼玉県と共催で、「かかりつけ医等発達障害対応力向上研修」を開催しています。昨年度も２回オンラインで行われ、延べ約 170 名（さいたま市から 25 名）小児科医を中心に様々な診療科の医師が参加されたようです。また、今年 3/18（土）に一般向けに講演会「成人期発達障害に対する理解と支援」（機関紙 157 号で報告）が行われた報告がありました。（２）次期さいたま市障害者総合支援計画素案について。
各委員からの意見を募りました。当会からは発達障害関係予算への要望書を作成中として、その一部をお話ししました。　（M・K）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度第１回さいたま市発達障害者支援連絡協議会

7/3（月）標題会議がさいたま市障害者総合支援センターで開催されました。発達障害者の支援にかかわる機関から 20 名の委員が参加しています。初めに各委員が所属する機関の紹介を行いました。主な議題は「発達障害者支援に係る切れ目のない支援体制の検討について」です。発達障害者本人と家族にとってのあらゆる困りごとは一つの支援機関（例えば病院、学校、生活支援センターなど）で対応しきれるものではなく、また当事者が年齢を重ねるにしたがって支援機関が変わっていきます。より適切な支援のためには支援機関どうしの横と縦のつながりが大切で、そのつながりを如何にスムーズに有効に行えるか、その方策を考えることをテーマにしています。今回は各委員の所属機関における他機関との連携の具体例や問題等を出し合いました。

私たち保護者は、支援機関についての知識を多く持つと同時に「潤いファイル（さいたま市民が利用。市外埼玉県民はサポート手帳）」なども利用して、子どもの成育歴や現在の生活、利用している機関などをまとめておき、本人を支援者に理解してもらいやすくしておくことも大切と思います。（M・K）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度第１回さいたま市発達障害者支援連絡協議会作業部会

9/25（月）、さいたま市障害者総合支援センターにおいて標題会議が行われました。大きなテーマである「切れ目のない支援」のために、昨年度から継続して課題としている、各支援機関の連携と支援者を支援することを念頭に、当会議においてできることはどんなことかについて意見を出し合いました。各委員の皆様はそれぞれの支援機関にご所属で、私は支援をしていただく逆の立場です。お話を伺って、それぞれが他の機関の役割を知り連携しやすくする必要を強く感じていらっしゃるのが分かりました。私たちはより良い支援に早く結びつくよう必要な機関が連携してチームで関わっていただける体制を願っています。（M・K）

役員活動報告（さいたま市）

令和５年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会
ワーキンググループ（児童・思春期部会）

7/25（火）標題会議がさいたま市子ども家庭総合センターで行われ、当会からの委員Ｙの代理で出席しました。まず各委員から所属機関の活動報告がありました。麦は２月に開催した講演会「発達障害のある人のひきこもりについて」（機関紙 156 号で報告）など、１月以降の主な活動を報告しました。次に令和４年度ひきこもり相談センターの事業報告がありました。

さらに、さいたま市の不登校等児童生徒支援センター（Growth）の説明がありました。さいたま市の教育相談の事業の一つで、オンライン学習等のICT を活用した学習支援活動等を行うものです。2Dメタバース Growth 校で学習や交流を行うことを中心に支援を受けられる、長期欠席者のための事業です。孤立せず、社会とつながっていく機会を得るための大きな選択肢だと思いました。内容がますます充実されるようです。

また、今後の当協議会の課題「ひきこもり支援に関する社会資源の整理」を行うとして、悩む市民が自分に合う支援や機関を見つけやすくするためのツールを作るため、形式や掲載する対象の機関をどのように選ぶかなど多くの課題を今後検討していくということです。（M・K）

役員活動報告（埼玉県）

埼玉県立総合教育センター主催 令和５年度　特別支援学校５年経験者研修
「保護者の心情に配慮した支援の在り方」

7/25（火）、埼玉県立総合教育センター主催の令和５年度特別支援学校 5 年経験者研修がオンラインで開催され、「麦」代表 が「保護者の心情に配慮した支援の在り方」というテーマで、講演させて頂きました。対象者は、埼玉県公立特別支援学校の教職経験５年目の教師です。講演は発達障害と限定せず、障害全般を対象にして、「障害児の子育て」「保護者の心情理解」「保護者との相談ポイント」「関係者の連携」「学校側に求めたい配慮」等をお話いたしました。参加した教師の皆様には、保護者にどのように接するべきかということも、ワークを用いて考えていただきました。最後に私から参加した教師皆様へ、「教師として困惑する保護者、感激する保護者とは、どういう人か？」と尋ねました。すると、チャット機能を使って多数のご意見を頂戴いたしました。代表的なご意見を紹介すると、一方的な思い込みで学校側を糾弾する保護者には困惑し、些細なことでも感謝の言葉を伝えてくる保護者には感激するそうです。私達保護者は、子どもがトラブルにあった時、状況をよく把握しないまま相手を責めていないでしょうか？また、障害なのだから支援されることが当たり前と、あぐらをかいていませんか？私達保護者も、どのような態度で周囲と接すれば良いか、今一度考えたいものです。

親の会としては、学校と家庭が対立することなく、信頼関係を築き連携することを願っています。保護者と教師は、立場が異なるのですから意見が衝突しても仕方ありません。話し合いを重ね、お互いが納得できる着地点を見つけてほしいものです。センターの皆様、研修に参加された皆様、当日はお世話になりました。このような機会を頂けたことに、感謝申し上げます。参加された皆様がそれぞれの現場でご活躍されますことを、心からお祈りしております。

（H・Y）

役員活動報告（埼玉県）

埼玉県障害者ワークフェア 2023 令和５年度第２回障害者雇用サポートセミナー

① 基調対談「企業が支える・企業を支える」～今後の障害者雇用の展開をふまえて～

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構　理事長　　輪島　忍氏
埼玉県立大学　名誉教授　朝日　雅也氏

② 事例発表「障害者雇用の取り組み」

島野精機株式会社　総務部　　本田　智氏

9/13（水）浦和コミュニティセンター

埼玉県障害者ワークフェアは、県民や事業主へ障害者雇用に関する理解を深めていただくためのイベントで、今年度は障害者雇用優良事業所並びに優秀勤労障害者表彰式、セミナー、障害者雇用の相談コーナー、障害者事業所の物品販売（パン・お菓子・手作りの小物等）、障害者スポーツ体験、マッサージ体験、福島県産品の販売が各ブースで行われていました。私は、イベント内の障害者雇用サポートセミナー（会場とオンラインのハイブリット開催）に会場参加で申し込みました。本セミナーの対象者は、企業・支援機関・学校関係者ということで、保護者は遠慮すべきと悩みましたが、私は親の会代表であり、支援機関の立場もございますので、セミナーへ申し込みさせていただきました。①基調対談では、「障害者雇用の現状」「障害者雇用企業の役割と課題」「企業と障害当事者と支援者の協働」について、輪島氏と朝日氏による率直な意見が交わされました。企業は、社会全体の障害者雇用を促進する支援の主体でもあるが、その役割を果たすには様々な機関から支援を受ける立場であることを基盤に対談されていました。②事例発表では、障害者雇用ゼロの会社が障害者雇用策定に至るまでの経緯が説明されました。今では、障害者は欠かすことができない大切な人材となっているようで、「大切なことはそれぞれの特性を理解し、尊重する事」という言葉が印象的でした。セミナー終了後、私は障害者施設で作られたお菓子を大量購入して、後日知人に配りました。障害者雇用のパネル展示も参考になりますので、障害者就労についてお悩みの方は、このようなワークフェアを活用したら如何でしょうか？来年度の企画にも、期待しております。

（H・Y）

役員活動報告（さいたま市）

第１回さいたま市障害者政策委員会

８月９日（水）

さいたま市障害者政策委員会は、障害者に関する施策の総合的かつ計画的な推進についての必要な事項の調査審議等を行うために設置されています。

前任者退任により、私は初めて障害者政策委員を委嘱されました。

議題
（1）　障害者総合支援計画の実施状況について
（2）　次期障害者総合支援計画の素案について
（3）　第一回誰もが共に暮らすための市民会議の報告について
（4）　その他

第１回目はときわ会館大ホールで行われましたが、zoom での参加も可能だったので、私は zoom で参加しました。たくさんの資料があらかじめ送られてきて、短い時間の中で、おもな支援計画の達成状況についての説明がありました。

今回の会議に先立ち６月に「第１回誰もが共に暮らすための市民会議」が開かれて、令和４年度障害者総合支援計画の達成状況の意見を広く市民から聞く場がありました。また、前もって政策委員には達成状況についての意見の提出が求められました。

「麦」からは
・発達障害・情緒障害通級指導教室の新設・増設
・ひきこもり対策推進事業の実施
・発達障害者（児）に対する支援の充実
・障害者相談の設置
の４項目について意見を提出しました。

この会議には視覚障害、聴覚障害など、いろいろな障害団体の方が参加します。私は今まで発達障害の困りごとや施策の提言を聞く機会はありましたが、他の障害を持つ方の意見を聞く機会はなかったので、今回のことで視野が広くなりました。参加委員の意見が反映され、よりよい障害者総合支援計画ができるように願います関係機関の皆様、当日はありがとうございました。　（C・N）

関連団体の情報

全国 LD 親の会主催の行事　会員限定

幼児・小学生保護者会員交流会（Zoom）
日　時：11 月７日（火）10:00～12:00
対　象：お子さんが小学生以下の会員
申込み：10 月 29 日（日）まで

第３回行政勉強会（Zoom）
日　時：11 月 25 日（土）10:00～12:00
講　師：日詰正文氏（元厚生労働省、言語聴覚士）
テーマ：障害者総合支援法の相談支援について
申込み：11 月 19 日（日）まで
★どちらも申込先は会員にメールで連絡します

日本発達障害ネットワーク 第 19 回年次大会

テーマ：社会モデルを生きる～障害の社会的モデルと自己理解からのセルフアドボカシーの重要性について考える～
日　時：12月3日（日）13:00～17:30
会　場：Zoomウェビナーによるオンライン開催
参加費：一般3,500円　　会員3,000円
申込み：11日30日（木）まで
下記サイトの申込フォームから
https://jddnet.jp/event231203/

「麦」活動報告（機関紙 2023 年６月 157 号報告以降）

＜会全体の活動＞会員参加行事

・全体例会（学習や会員同士の交流の場の提供）

6/25（日）　全体おしゃべり会　入会希望者お試し参加可　会場開催
7/22（土）　川越地区おしゃべり会　入会希望者お試し参加可　会場開催
8/19（土）　大宮地区おしゃべり会　入会希望者お試し参加可　会場開催
9/22（金）　進路例会「発達障害のある子どもの進路と不登校ひきこもり」会員限定　会場開催

＜役員活動＞

・役員会（活動報告、計画、相談、情報交換等）　全て Zoom

6/9（金）、7/13（木）、8/7（月）、9/14（木）　全体例会、LINE の活用、会則の相談など

・機関紙発行および各種発送に関する活動

6/25（日）　機関紙 157 号発行、WEB 掲載　機関紙及び総会資料等印刷・発送

・ホームページの更新

6/12（月）、6/24（土）、8/18（金）、9/23（土）

・要望書提出に関する活動

6/7（水）、6/15（木）、6/22（木）要望書検討会（Zoom）７月はメールによる内容検討
7/24（月）　さいたま市要望書を持参提出　担当部局への要望内容説明
7/24（月）　埼玉県要望書提出郵送
9/5（火）　埼玉県要望書口頭回答　担当部局と口頭回答に対する質疑
9/19（火）　埼玉県議会公明党議員団　要望書提出と意見交換会

・行政関連の行事

6/23（金）　令和５年度第１回さいたま市誰もが共に暮らすための市民会議（会場開催）
7/3（月）　令和５年度第１回さいたま市発達障害者支援連絡協議会（会場開催）
7/13（木）　令和５年度第１回さいたま市発達障害者支援地域協議会（Zoom）
7/25（火）　令和５年度さいたま市ひきこもり対策連絡協議会 児童・思春期支援部会（会場開催）
7/25（火）　埼玉県立総合教育センター主催 令和５年度特別支援教育５年次研修講師派遣（Zoom）
7/27（木）　第７期埼玉県障害者支援計画策定に係る障害者団体ヒアリング（会場開催）
8/9（水）　令和５年度第１回さいたま市障害者政策委員会（Zoom）
9/25（月）　令和５年度さいたま市発達障害者支援連絡協議会作業部会（会場開催）

・その他

6/22（木）　賛助会員「山びこ教室」から事業説明（Zoom）
6/22（木）　「Zoom サポートセンター」から取り扱い説明（Zoom）
8/19（土）　「さいたま市障害者総合療育センターひまわり学園総務課」から療育事業説明
9/13（水）　埼玉県障害者ワークフェア 2023

＜全国 LD 親の会の行事＞

6/17（土）　全国 LD 親の会総会＆研修会（ハイブリット開催）「麦」は Zoom 参加
6/18（日）　第 22 回公開フォーラム（ハイブリット開催）「麦」は Zoom 参加
7/8（土）　関東・東北ブロック会議（ハイブリット開催）「麦」は会場と Zoom 両方参加
7/9（日）　行政勉強会「障害者総合支援法概論」（Zoom）
9/8（金）　行政勉強会（Zoom）
「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議について」
10/8（日）～10/9（月祝）　日本 LD 学会第 32 回大会　全国 LD 親の会ポスター展示　「麦」参加

埼玉親の会「麦」主催

おしゃべり会＆見学会のご案内

午前は、発達障害の子どもを持つ保護者おしゃべり会。午後からは、コロナによって活動を控えていた施設見学会を実施いたします。対象者は「麦」会員ですが、午前のみ入会希望者のお試し参加を受付けます。参加希望者は、下記の申込み先にご連絡ください。

保護者おしゃべり会

日 時　11/20（月）10:30～12:00
受付 10:15～

場 所　浦和コミュニティセンター　IT 研修室
さいたま市浦和区東高砂町 11-1　コムナーレ 10F
TEL048-887-6565　有料駐車場あり
JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前

参加費無料　定員 20 名　定員になり次第締め切り
入会希望者のお試し参加可能

「麦」会員限定　施設見学会

日 時　11/20（月）13:30～14:30

見学場所　就労移行支援事業所*ブライトさいたま*
さいたま市中央区新都心4-15 フジコー新都心ビル 7F

参加費無料　定員５名　定員になり次第締め切り　非会員参加不可

埼玉親の会「麦」とは・・・

LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD （自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。
1989 年発足。
NPO 法人全国 LD 親の会所属。
http://ld-mugi.sakura.ne.jp/

午前・午後共通　申込み＆問合せ先　埼玉親の会「麦」
Mail　mugi.saitama89@gmail.com（申込先）　TEL　080-4125-6020（確認用）

午前・午後どちらも 11/13（月）までに、参加者氏名、電話番号、お子様の年齢をメールでご連絡ください。入会希望者は、午前のみお試し参加が可能です。「麦」会員（正会員・賛助会員・法人会員）は、「午前のみ」「午後のみ」「午前午後どちらも」の参加を選べます。
3 日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020（確認用）へ電話をお願いします。
参加者の個人情報は、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。
☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」主催　講演会（会場＋オンライン）

発達障害のある子の子育てと周囲との連携

日　時　12月17日（日）
10:30～12:00（受付 10:15～）

講　師　矢崎 弘美　埼玉親の会「麦」代表
子ども発達障がい支援アドバイザー

会　場　浦和コミュニティセンター　IT 研修室
さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F
TEL 048-887-6565　有料駐車場あり
JR 浦和駅東口徒歩 1 分 ロータリー前

参 加 費　一般/非会員 500 円（資料代として）
会場参加者は当日受付でお支払いください。
オンライン参加者は事前振込み。
受付完了メールに支払い方法を連絡します。
「麦」会員（正会員・賛助会員・法人会員）は無料

発達障害のある子どもとの生活は、戸惑うことがしばしば生じます。状況によっては、支援機関と連携しながら対応することが求められます。
子どもの障害に向き合い、周囲と連携していくには、どんな工夫が必要なのか、参加者と共に考えたいと思います。

定員
会 場　20 名
オンライン 20 名
（録画配信なし）

申込先　埼玉親の会「麦」WEB フォーム
https://forms.gle/o2JRqZhtKnE2ZrLg7

12月10日（日）までに、二次元バーコードまたは URL からお申し込みください。WEB フォームから申し込みできない方は、メールか電話でお問い合わせください。3 日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は、「麦」事務局まで電話（080-4125-6020）でご連絡ください。オンライン参加者には、受付完了メールに Zoom 接続先や参加費振込方法（非会員）など詳細を連絡します。参加者の個人情報は、講演会の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。
☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

埼玉親の会「麦」とは
LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD （自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。（1989 年発足）
保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。

問合せ先　埼玉親の会「麦」事務局
Mail　mugi.saitama89@gmail.com
TEL　080-4125-6020
http://ld-mugi.sakura.ne.jp/

埼玉親の会「麦」主催

おしゃべり会＆見学会のご案内

午前は、発達障害の子どもを持つ保護者おしゃべり会。午後からは、施設見学会を実施いたします。対象者は「麦」会員ですが、午前のみ入会希望者のお試し参加を受付けます。参加希望者は、下記の申込み先にご連絡ください。

保護者おしゃべり会

日 時　2024/1/22（月）10:30～12:00
受付 10:15～

場 所　浦和コミュニティセンター 第９集会室
さいたま市浦和区東高砂町 11-1 コムナーレ 10F
TEL048-887-6565　有料駐車場あり
JR 浦和駅東口徒歩１分 ロータリー前

参加費無料　定員 20 名　定員になり次第締め切り
入会希望者のお試し参加可能

申込先　埼玉親の会「麦」 WEB フォーム
午前・午後共通
https://forms.gle/QNPCeYt8JEZvFiRg9

「麦」会員限定　施設見学会

日　時　2024/1/22（月）13:30～14:30

見学場所　就労移行支援事業所 アクセスジョブさいたま
さいたま市見沼区東大宮 5-2-13 斎藤第一ビル 4F

参加費無料　定員５名　定員になり次第締め切り
非会員参加不可

埼玉親の会「麦」とは・・・
LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、ASD （自閉スペクトラム症）の知的に遅れのない発達障害の子どもを持つ保護者で構成されています。保護者自身が子どものことを理解し、また、子どもたちが周囲に理解されて、自立した豊かな社会生活が送れるよう活動しています。1989 年発足。

問合せ先
埼玉親の会「麦」
http://ld-mugi.sakura.ne.jp/
mugi.saitama89@gmail.com
TEL　080-4125-6020

午前・午後どちらも 1/15（月）までに、二次元バーコードまたは URL からお申し込みください。WEB フォームから申し込みできない方は、メールか電話でお問い合わせお願いします。入会希望者は、午前のみお試し参加が可能です。
３日以内に受付完了メールが届かない時は、迷惑メールをチェックいただき、それでも届いていない時は 080-4125-6020（確認用）へ電話をお願いします。
参加者の個人情報は、行事の運営と緊急連絡などの目的以外に使用せず、必要がなくなり次第速やかに処分いたします。
☆保育は行っておりません。お子様連れの場合、保護者にお任せしますのでご了承ください。

麦 INFORMATION　10 月号

掲載希望の情報をお持ちの方は、なるべくメールで mugi.saitama89@gmail.com または、機関紙役員まで。

❁11 月おしゃべり会　麦会員限定（賛助・法人会員含む）入会希望者のお試し参加可
日時：11 月 20 日（月）10：30～12：00（受付 10：15～）
場所：浦和コミュニティセンター　IT 研修室
定員：20 名

❁施設見学会　麦会員限定（賛助・法人会員含む）非会員参加不可
日時：11 月 20 日（月）13：30～14：30
場所：就労移行支援事業所ブライトさいたま
定員：５名
※申込等詳細はチラシ（13 ページ）または麦ホームページにて確認してください。
申し込み先は麦メールで 11 月 13 日（月）までにお願いいたします。

❁12 月講演会『発達障害のある子の子育てと周囲との連携』
矢崎 弘美　埼玉親の会「麦」代表　子ども発達障がい支援アドバイザー
日時：12 月 17 日（日）10：30～12：00（受付 10：15～）
場所：浦和コミュニティセンター IT 研修室（会場＋オンライン）
「麦」会員（正会員・賛助会員・法人会員）は無料。一般/非会員 500 円（資料代として）
※申込等詳細はチラシ（14 ページ）または麦ホームページにて確認してください。
麦会員にはメールでも連絡いたします。

❁１月おしゃべり会
日時：１月 22 日（月）10：30～12：00　麦会員限定（賛助・法人会員含む）　入会希望の見学者可
場所：浦和コミュニティセンター 第９集会室

❁施設見学会　麦会員限定（賛助・法人会員含む）非会員参加不可
日時：１月 22 日（月）13：30～14：30
場所：就労移行支援事業所 アクセスジョブさいたま
※申込等詳細はチラシ（15 ページ）または麦ホームページにて確認してください。
麦会員にはメールでも連絡いたします。

❁役員会（Zoom）のお知らせ
11 月１０日（金）、12 月 11 日（月）、１月 15 日（月）　すべて９：15～（遅刻早退可能）
役員会は、役員だけでなく正会員なら誰でも参加できます。役員会を会場開催から Zoom に切り替えた時、Zoom 操作の都合で、しばらく役員限定で行っておりましたが、今年度から会員参加もお受けします。役員会に参加したい会員、麦へのご意見等は麦事務局までご連絡ください。　mugi.saitama89@gmail.com

＊今後の予定は決まり次第、麦ホームページまたは会員連絡網でお知らせいたします。

～編集後記～

長くて暑い夏がやっと終わったと思ったら、もう１年の終わりが見えてきました。
気候の変化になかなか体がついていきませんが、皆様体調を崩さずにお過ごしください。（M・N）
暑い夏が終わり、紅葉も始まって来ました。今年も後２ヶ月余りとなりました。
まだ一年の挨拶には早いですが、皆様体調に気をつけて良いお年をお迎えください。　（A・Y）

機関紙に原稿を
お寄せいただいた皆さまへ

この度は、機関紙 10 月号に原稿を寄せていただき、ありがとうございました。
これからも、麦の活動にご協力をお願いいたします。　〈機関紙担当一同〉